大学･高専機能強化支援事業（支援２：高度情報専門人材の確保に向けた機能強化に係る支援）
【大学　ハイレベル枠】実施状況報告書

選定年度	令和5年度	学校コード	F134110109780	改組内容	研究科等の設置・増員＋学部等の設置・増員（ハイレベル枠）
大学名	広島大学	設置区分	国立	事業計画名	広島大学「高度な学術研究や専門知識に裏打ちされた研究･開発能力を持ち、デジタル技術開発やDXの推進を力強く牽引する高度情報専門人材の育成」
学校種	大学	都道府県	広島県		

1.年度別の計画及び取組状況

年度別の事業計画（上欄：研究科等の設置等及びその準備（設置認可申請等）、下欄：教育環境の整備（施設整備、教員採用等）、教育活動の充実等の取組）と取組状況及び自己評価を記載してください。

当初計画から変更又は追加した取組がある場合は「取組状況」に取組を赤字で記載してください。また、計画変更申請をした場合は「取組状況」に承認日を赤字で記載してください。

計画の進捗の遅れや実施困難な事項がある等、自己評価が下位2つの場合には、課題（理由）とその対応を記載してください。計画通りに実施できており、その他課題がない場合に限り記載は不要です。

事業期間	事業計画	取組状況	自己評価、課題（理由）とその対応	
令和5年度	【情報系組織の入学定員】<博士＞10人＞、<修士＞36人、<学士＞155人 先進理工系科学研究科先進理工系科学専攻（博士課程後期）情報科学プログラム　入学定員10人 先進理工系科学研究科先進理工系科学専攻（博士課程前期）情報科学プログラム　入学定員36人 情報科学部情報科学科　入学定員155人（編入学定員5人を含む） 3月　情報科学部情報科学科及び工学部第二類（電気電子･システム情報系）　収容定員に係る大学全体の収容定員増の申請予定	【情報系組織の入学定員】<博士＞10人、<修士＞36人、<学士＞155人 先進理工系科学研究科先進理工系科学専攻（博士課程後期）情報科学プログラム　入学定員10人 先進理工系科学研究科先進理工系科学専攻（博士課程前期）情報科学プログラム　入学定員36人 情報科学部情報科学科　入学定員155人（編入学定員5人を含む） 3月　情報科学部情報科学科及び工学部第二類（電気電子･システム情報系）　収容定員に係る大学全体の収容定員増の申請	R5年度自己評価	【３】計画を十分に実施している。
	①マツダとの「AiOpsエンジニア育成特定プログラム」開設 ②「ひろしまDX人材育成奨学金」による支援開始 ③数理･データサイエンス･AI教育プログラム(リテラシーレベル教材をホームページ上で提供開始 ④「中国ブロック高等専門学校ワークショップ」開催 ⑤マイクロンメモリジャパン等との特定プログラム開設に向けた協議開始 ⑥東京工業大学、豊橋技術大学との連携協定締結	①マツダとの「AiOpsエンジニア育成特定プログラム」開設 ②「ひろしまDX人材育成奨学金」による支援開始 ③数理･データサイエンス･AI教育プログラム(リテラシーレベル教材をホームページ上で提供開始 ④「中国ブロック高等専門学校ワークショップ」開催 ⑤マイクロンメモリジャパン等との特定プログラム開設に向けた協議開始 ⑥東京工業大学、豊橋技術大学との連携協定締結		
令和6年度	【情報系組織の入学定員】<博士＞10人＞、<修士＞36人、<学士＞155人	【情報系組織の入学定員】<博士＞10人、<修士＞36人、<学士＞155人 先進理工系科学研究科先進理工系科学専攻（博士課程後期）情報科学プログラム　入学定員10人 先進理工系科学研究科先進理工系科学専攻（博士課程前期）情報科学プログラム　入学定員36人 情報科学部情報科学科　入学定員155人（編入学定員5人を含む）	R6年度自己評価	【３】計画を十分に実施している。
	①「アリゾナ州立大学」、「パデュー大学」との連携事業開始 ②数理･データサイエンス･AI教育プログラム応用基礎レベル教材をホームページ上で提供開始 ③「CMOSアドバンストコース」の開設 ④Micron Technology奨学金による支援開始 ⑤半導体分野の教育体制の整備（教授２名、准教授１名の採用） ⑥高等専門学校との共同研究、高等専門学校専攻科生の推薦入試の対象校の拡大活動	①「アリゾナ州立大学」、「パデュー大学」との連携事業開始 ②数理･データサイエンス･AI教育プログラム応用基礎レベル教材をホームページ上で提供開始 ③「CMOSアドバンストコース」の開設 ④Micron Technology奨学金による支援開始 ⑤半導体分野の教育体制の整備（教授１名、助教２名の採用）　（R7.3.31承認） ⑥高等専門学校との共同研究、高等専門学校専攻科生の推薦入試の対象校の拡大活動 ⑦DX分野の教育体制の整備（教授１名、准教授１名の採用）　（R6.7.17承認）		
令和7年度	【情報系組織の入学定員】<博士＞10人、<修士＞70人、<学士＞255人 先進理工系科学研究科先進理工系科学専攻（博士課程前期）情報科学プログラム　34人増員予定（入学定員70人） 工学部第二類（電気電子･システム情報系）半導体システムプログラム設置予定（入学定員55人） 情報科学部情報科学科　45人増員予定（入学定員200人（編入学定員20人を含む）） ①DXSX棟（仮称）の新設工事（初年度）の実施 ②半導体システムプログラムのためのクリーンルーム設置 ③「アリゾナ州立大学」、「パデュー大学」との連携事業実施 ④半導体分野の教育体制の整備（准教授1名、助教1名の採用） ⑤半導体分野の教育体制の整備（教授2名、准教授1名の継続雇用） ⑥DX分野の教育体制の整備（准教授2名の採用） ⑦特定プログラム、CMOSアドバンストコース、高等専門学校と共同研究、推薦入試対象校の拡大活動実施		R7年度自己評価	リストから選択してください。
令和8年度	【情報系組織の入学定員】<博士＞10人、<修士＞70人、<学士＞255人 ①DXSX棟（仮称）の新設工事（2年目）の実施 ②半導体システムプログラムのためのセミ･ムフード設置 ③マイクロンメモリジャパン等との特定プログラム開設 ④半導体分野の教育体制の充実（准教授1名、助教2名の採用） ⑤半導体分野の教育体制の充実（教授2名、准教授2名、助教1名の継続雇用） ⑥DX分野の教育体制の充実（教授2名、准教授2名の採用） ⑦DX分野の教育体制の充実（准教授2名の継続雇用） ⑧「アリゾナ州立大学」、「パデュー大学」との連携事業実施 ⑨特定プログラム、CMOSアドバンストコース、高等専門学校と共同研究、推薦入試対象校の拡大活動実施		R8年度自己評価	リストから選択してください。
令和9年度	【情報系組織の入学定員】<博士＞10人、<修士＞140人、<学士＞265人 先進理工系科学研究科先進理工系科学専攻（博士課程前期）DX科学プログラム設置予定（入学定員70人） 工学部第二類（電気電子･システム情報系）半導体システムプログラム　10人増員予定（入学定員65人（編入学定員10人を含む）） ①半導体分野の教育体制の整備（教授2名、准教授3名、助教３名の継続雇用） ②DX分野の教育体制の整備（教授2名、准教授4名の継続雇用） ③海外大学との学生交流の実施 ④特定プログラム、CMOSアドバンストコース、高等専門学校と共同研究、推薦入試対象校の拡大活動実施		R9年度自己評価	リストから選択してください。
令和10年度	【情報系組織の入学定員】<博士＞10人、<修士＞70人、<学士＞255人 ①半導体分野の教育体制の整備（教授2名、准教授3名、助教３名の継続雇用） ②DX分野の教育体制の整備（教授2名、准教授4名の継続雇用） ③「アリゾナ州立大学」、「パデュー大学」との連携事業実施 ④特定プログラム、CMOSアドバンストコース、高等専門学校と共同研究、推薦入試対象校の拡大活動実施		R10年度自己評価	リストから選択してください。
令和11年度	【情報系組織の入学定員】<博士＞15人、<修士＞225人、<学士＞265人 先進理工系科学研究科先進理工系科学専攻（博士課程後期）DX科学プログラム設置予定（入学定員5人） 先進理工系科学研究科先進理工系科学専攻（博士課程前期）情報科学プログラム　15人増員予定（入学定員85人） 先進理工系科学研究科先進理工系科学専攻（博士課程前期）DX科学プログラム　15人増員予定（入学定員85人） 先進理工系科学研究科先進理工系科学専攻（博士課程前期）半導体システムプログラム設置予定（入学定員55人）		R11年度自己評価	リストから選択してください。
	①半導体分野の教育体制の整備（教授2名、准教授3名、助教３名の継続雇用） ②DX分野の教育体制の整備（教授2名、准教授4名の継続雇用） ③「アリゾナ州立大学」、「パデュー大学」との連携事業実施 ④特定プログラム、CMOSアドバンストコース、高等専門学校と共同研究、推薦入試対象校の拡大活動実施			
令和12年度	【情報系組織の入学定員】<博士＞15人、<修士＞225人、<学士＞265人		R12年度自己評価	リストから選択してください。
	①半導体分野の教育体制の整備（教授2名、准教授3名、助教３名の継続雇用） ②DX分野の教育体制の整備（教授2名、准教授4名の継続雇用） ③「アリゾナ州立大学」、「パデュー大学」との連携事業実施 ④特定プログラム、CMOSアドバンストコース、高等専門学校と共同研究、推薦入試対象校の拡大活動実施			
令和13年度	【情報系組織の入学定員】<博士＞30人、<修士＞225人、<学士＞265人 先進理工系科学研究科先進理工系科学専攻（博士課程後期）DX科学プログラム　5人増員予定（入学定員10人） 先進理工系科学研究科先進理工系科学専攻（博士課程後期）半導体システムプログラム設置予定（入学定員10人）		R13年度自己評価	リストから選択してください。
	①半導体分野の教育体制の整備（教授2名、准教授3名、助教３名の継続雇用） ②DX分野の教育体制の整備（教授2名、准教授4名の継続雇用） ③「アリゾナ州立大学」、「パデュー大学」との連携事業実施 ④特定プログラム、CMOSアドバンストコース、高等専門学校と共同研究、推薦入試対象校の拡大活動実施			
令和14年度	【情報系組織の入学定員】<博士＞30人、<修士＞225人、<学士＞265人		R14年度自己評価	リストから選択してください。
	①半導体分野の教育体制の整備（教授2名、准教授3名、助教３名の継続雇用） ②DX分野の教育体制の整備（教授2名、准教授4名の継続雇用） ③「アリゾナ州立大学」、「パデュー大学」との連携事業実施 ④特定プログラム、CMOSアドバンストコース、高等専門学校と共同研究、推薦入試対象校の拡大活動実施			

フォローアップ対象年度	令和5年度	大学名	広島大学

2.申請資格の確認

該当しない場合は、チェックしてください。

ⅰ） 学生募集停止中の大学

該当無し	■ チェック

ⅱ） 学校教育法第109条の規定に基づき文部科学大臣の認証を受けた者による直近の評価の結果、「不適合」の判定を受けている大学

該当無し	■ チェック

ⅲ） 「私立大学等経常費補助金」において、定員の充足状況に係る基準以外の事由により、前年度に不交付又は減額の措置を受けた大学

該当無し	■ チェック

ⅳ） 設置計画履行状況等調査において、「指摘事項（法令違反）」が付されている大学

該当無し	■ チェック

ⅴ） 大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準（平成15年文部科学省告示第45号）第２条第１号又は第２号のいずれかに該当する者が設置する大学

該当無し	■ チェック

3.申請要件の取組状況

令和5年度 の取組が当初の計画通りに進んでいる、又はチェック項目に該当する場合はチェックしてください。計画通りに進んでいない、又はチェック項目に該当しない場合は右欄に課題（理由）とその対応を記載してください。

①	高等教育の修学支援新制度において、大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第８号）に基づき、財務状況や収容定員充足率が適正であることを含めた要件を満たすことの確認を受けた大学であること。なお、学部を置かない大学や新設予定の大学で、応募時点において、高等教育の修学支援新制度における要件確認の対象に該当しないものは、本要件は適用されない。	確認を受けている	■ チェック
		対象に該当しない	□ チェック
②	志願者数の状況や入学定員及び収容定員充足率等を踏まえた十分な学生確保の見通しを備えた計画となっていること。	計画通りに進んでいる	■ チェック
③	産業界を含む社会のニーズ等を踏まえ、学修目標の具体化、体系的な教育カリキュラムの編成及び大学での学修に必要な資質・能力等を評価する入学者選抜が適切に実施され、そのための体制を構築する計画となっていること。（その際、国際的な質保証の枠組みを活用するなど出口における質保証にも十分留意することが重要。）	計画通りに進んでいる	■ チェック
④	特定成長分野のうちデジタル分野の人材を育成するための戦略、適切な管理・教育体制や教育研究環境の整備を図る計画となっていること。	計画通りに進んでいる	■ チェック
⑤	計画の対象となる研究科・専攻等において、実務経験のある教員等による授業科目を配置する計画となっていること。	計画通りに進んでいる	■ チェック
⑥	特定成長分野のうち情報系分野に係る研究科、専攻、コース等の設置・増員（研究科、専攻の定員の増員を伴わないものを含む。）、専攻に係る課程の変更（研究科、専攻、コース等の設置・増員及び専攻に係る課程の変更に伴う学部、学科、コース等の設置・増員（学部、学科の定員の増員を伴わないものを含む。）を含む。）（以下「研究科等の設置等」という。）による体制強化の計画であること。なお、コース等の設置・増員による体制強化の場合は、学則において、コース等の募集人員数を明記する計画であること。	計画通りに進んでいる	■ チェック
⑦	社会において具体的な人材ニーズが現に存在する、又は、その十分な見通しのある分野に係る研究科等の設置等の取組であること。	計画通りに進んでいる	■ チェック
⑧	教育の実績を有する既設の情報系分野に係る研究科、専攻（授与する学位が、学位種類分野変更基準に定める理学関係、工学関係又は農学関係のいずれかを学位の分野として含むものに限る。）を有する大学において、高度情報専門人材を育成する計画であること。（大学（特例枠）については、既設の情報系分野に係る学部、学科（授与する学位が、学位種類分野変更基準に定める理学関係、工学関係又は農学関係のいずれかを学位の分野として含むものに限る。）を有する大学とする。）	既設の情報系分野に係る研究科等を有する	■ チェック
⑨	機構による事業計画の選定があった日から２年を経過する日を含む年度の末日までに、計画の対象となる研究科等の設置等を行う計画であること。	計画通りに進んでいる	■ チェック
⑩	計画の対象となる研究科等の設置等において、大学院修士課程（博士前期課程を含む。）15名以上又は大学院博士課程（博士後期課程を含む。）５名以上の入学定員の増員を行う計画であること。	計画通りに進んでいる	■ チェック
⑪	国立大学について、大学全体の収容定員の増員を伴う学部定員の増員を行う場合は、国立大学法人の第５期中期目標期間終了時までに他学部・他学科を中心に同規模の定員減を行う計画であること。	計画通りに進んでいる、又は対象に該当しない	■ チェック
⑫	教員の確保・配置状況等を踏まえた実現可能性の高い計画になっていること。	計画通りに進んでいる	■ チェック
⑬	文部科学省が実施する数理・データサイエンス・ＡＩ教育プログラム認定制度における「応用基礎レベル」について、大学又は計画の対象となる学部若しくは計画の対象となる研究科に関連する主な学部が認定を受けている、又は認定を受ける計画があること。なお、学部を置かない大学で、本認定制度の対象に該当しないものについては、本要件は適用されない。	認定を受けている、又は対象に該当しない	■ チェック
		認定を受ける計画が進んでいる	□ チェック
⑭	文部科学大臣から国際卓越研究大学として認定を受け、支援を受けている大学でないこと。	認定を受けておらず申請する意向もない	■ チェック

フォローアップ対象年度	令和5年度	大学名	広島大学

４－１.審査要項における確認項目の計画及び取組状況

令和5年度　の取組実績を記載し、申請時に選択した項目にチェックを入れ計画を記載してください。取組実績は会社名や大学名、定量的なデータ等を示し具体的に記載してください。検討中であっても状況を記載してください。

計画の進捗の遅れや実施困難な事項がある場合には、課題（理由）とその対応を記載してください。計画通りに実施できており、その他課題がない場合に限り記載は不要です。

①　地域において自治体や企業等と連携した取組を行う計画となっているか。

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
3．申請要件③に記載している、マツダ（株）との「AIOpsエンジニア育成特定プログラム」、マイクロンメモリジャパン（株）などの「CMOSアドバンストコース」など企業と連携した高度情報専門人材の育成プログラムに加えて、広島県からの「ひろしまDX人材育成奨学金」、Micron Technology Inc.からの「Micron奨学金」、せとうち半導体共創コンソーシアムからの金銭的・人的支援を受けることが既に決定している。せとうち半導体共創コンソーシアムと連携し、半導体技術や産業への理解を深める「高等学校及び高等専門学校との連携による半導体人材育成の早期育成プロジェクト」などを開催し、地域産業界との連携においては参加企業による技術セミナー・合同シンポジウムを行うこととしている。また、令和4年にはひろしまDX人材育成・確保推進産学協議会等と連携し、メタバース上で地元企業と大学生・大学院生が就活マッチングを行う「HIROSHIMA就活3.0～共に創ろう未来の企業説明会～」を開催しており、今後も高度情報専門人材の地域産業界への仲介イベントを継続的に行うことしている。	「AIOpsエンジニア育成特定プログラム」を試行し、プログラム登録者に対してマツダ（株）でのインターンシップ科目を実施した。令和５年のプログラム登録者は博士課程前期学生７名であった。 広島大学AI･データイノベーション教育研究センター主催により、"広島企業のための「DX人材活用セミナー」"を開催した。また、メタバース上で地元企業と大学生・大学院生が就活マッチングを行う「HIROSHIMA就活スタジアム2023」を実施した。 CMOSアドバンストコースを立ち上げ、1年間で5回(8日間)半導体全般に関する講義を行い、社会人、学生を含めて延べ1200名以上の参加者があった。UPWARDSの枠組みでMicron財団、Micron Technology Inc.、東京エレクトロンから資金提供を受け、半導体に関する国際的な交流プログラムを開始した。せとうち半導体コンソーシアムでは、半導体に関するセミナーを行い、社会人393名、学生24名の参加を通じ半導体関連の理解を深めた。また、高専、高校、予備校への訪問を行い、半導体、理系への興味をわかせる活動を開始した。奨学金については、先進理工系科学研究科独自の制度「広島大学先進理工系科学研究科研究奨学金」や大学院リサーチフェローシップ等により，博士課程後期学生の経済的な支援事業が充実することとなった。	

②　初等中等教育段階の学校との連携に関する取組を行う計画となっているか。

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
大学のオープンキャンパスでは、高校生だけでなく他大学学生や高専学生を対象とした入試説明会や模擬授業を行っている。令和4年からは高大接続事業として「サマーキャンプ」を実施しており、高校生が情報科学分野の適性を把握するため、大学講義の模擬授業を2日間行っている。サマーキャンプの修了は情報科学部における学校推薦入試（地方創生枠）の推薦要件の一つとして選択できる。令和4年は、県内だけでなく広全国から参加者があり、参加実績は114名であった。国立高等専門学校機構と連携し、教員間の共同研究に高専学生が参画し、これを契機に本学への編入学、大学院入学を促す取組を行っている。 令和５年に締結した呉高専との高専専攻科生推薦入試に係る協定では、本学教員と高専教員との共同研究への参画が出願要件の１つとなっている。令和4年には、本学教員が富山高専、明石高専、宇部高専、大島商船高専、久留米高専の教員と共同研究を行っており、高専学生も多数参加している。高校生を対象としたせとうち半導体共創コンソーシアムとの連携イベントでは、太陽電池の製作や評価の実習を行い、半導体技術への関心を高めるための取組を行っている。今後もこれらの取組を拡充しつつ継続して行うこととしている。	高大接続事業として「サマーキャンプ」を実施し、２日間の大学講義の模擬授業を行い114名が参加した。また、サマーキャンプの修了を学部における学校推薦型入試（地方創生枠）の推薦要件の１つとできる取組も引き続き行った。一高校生を対象に太陽電池の評価に関する実習を行ない15名が参加した。	

③　女子学生、社会人学生、留学生等の確保に向けた特色ある取組を行う計画となっているか。

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
3．申請要件③に記載のとおり、マツダ（株）との「AIOpsエンジニア育成特定プログラム」、マイクロンメモリジャパン（株）などの「CMOSアドバンストコース」など同一のカリキュラムを社会人も履修可能としており、社会人リスキル教育との相乗効果を通じて、M･Dにおける社会人学生を獲得する。また、情報科学部では、学校推薦入試（地方創生枠）に15名の女子枠を設けることで、「ひろしまDX人材育成奨学金」を活用しながら大学院まで一貫して学びを継続し、将来のキャリアパスの「見える化」が容易になる取組を開始する。 大学院の半導体システムPでは、Micron Technology Inc.の資金を活用した女子学生を中心とした給付型奨学金、M･Dを通じた5年コースへの給付型奨学金を創設して、M･Dに入学を希望する優秀な学生を獲得する。また、海外大学との教育・研究における連携を強化し、世界中から優秀な学生を本学に迎え入れる仕組みを構築する。例えば、半導体システムPの有償インターンシップでは、米国大学の学生は本学経由でマイクロンメモリジャパン（株）でのインターンシップを、本学学生は米国大学経由で米国の企業でインターンシップが行えるよう計画しており、学生間の交流を活発化することで留学生の獲得にも貢献する。	社会人リスキル教育として開発した教材を「AIOpsエンジニア育成特定プログラム」に一部改変して利用することで、大学院教育と社会人リスキル教育の相乗効果が得られるようなカリキュラムを構築した。 学校推薦型入試（地方創生枠）に15名の女子枠を設けるための学内整備を行った。 博士課程後期学生の奨学金に関しては、先進理工系科学研究科独自の制度「広島大学先進理工系科学研究科研究奨学金」や大学院リサーチフェローシップ等により、Micron Technology Inc.以外の資金でその制度が立ち上がったため、それを利用していくことした。一方で、Micron Technology Inc.からの資金により博士課程前期学生に対しても博士課程後期進学希望者であれば、奨学金を支給するなどの支援策の拡充は検討している。	

④　他の大学（外国大学を含む。）・高等専門学校等と連携した取組を行う計画となっているか。

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
３.申請要件③に記載のとおり、情報科学PとDX科学Pはアリゾナ州立大学、半導体システムPはバデュー大学といった海外有力大学と連携して国際共同研究や相互補完的な教育に関する取組を行う。具体的には、大学院カリキュラムの共同開発や教員や学生の相互派遣を通じて、研究・教育力を高める。また、学生交流やセミナーなどを計画する。高専等との連携については、情報分野では、教材の共同利用に向けて、本学ホームページ上で数理・データサイエンス・AI教育強化事業認定コンテンツの提供を開始しており、地域における高専との教育連携が進んでいる。 半導体分野における高専との共同研究について、富山高専、明石高専、宇部高専、大島商船高専、久留米高専と実施しており、令和４年には、富山高専、新居浜高専、呉高専、徳山高専、宇部高専、熊本高専において半導体に関する最新の研究動向の紹介セミナーを開催した。高専専攻科修了生の推薦入試制度（現在は、呉工業高等専門学校と協定締結）も徐々に他高専にも拡充し、高度情報専門人材を共同で育成する仕組みを構築する。	米国アリゾナ州立大学(ASU)との協議を行い、令和６年度から２名の講師を本学に短期招聘し、集中講義やセミナーを通じて最先端の情報科学における研究成果を学ぶ機会を提供することとなった。UPWARDSでは日米11大学との連携を開始し、米国大学ではバデュー大学との共同研究、学部学生の交流を開始した。 高専との連携については、宇部高専とは共同研究、セミナー及び学生の施設見学を行い，富山高専･高専機構･呉高専とは高専生への授業提供に関する打ち合わせを行なった。また、富山高専･鈴鹿高専･沖縄高専･釧路高専･都立産技高専とは共同研究を行い、徳山高専とは研究内容の紹介を行なった。	

４－２.審査要項における確認項目（３つの取組、６つの観点）の計画及び取組状況

令和5年度　の取組実績を記載し、申請時に選択した項目にチェックを入れ申請時の計画を記載してください（３つの取組のみ計画の記載は不要です）。取組実績は会社名や大学名、定量的なデータ等を示し具体的に記載してください。検討中であっても状況を記載してください。

計画の進捗の遅れや実施困難な事項がある場合には、課題（理由）とその対応を記載してください。計画通りに実施できており、その他課題がない場合に限り記載は不要です。

＜３つの取組＞

- ■　チェック　［１］海外のトップ大学と連携するなどして、デジタル分野の第一人者として国際的に活躍できる世界トップレベルの研究者や技術者の輩出を図る取組となっているか。
- ■　チェック　［２］デジタル人材の不足を解消するために、自大学の教育の高度化や定員の大幅な拡充を図るのみならず、他の大学・高等専門学校の学生も広く参加可能な優れた情報教育プログラムを構築開させる取組となっているか。
- ■　チェック　［３］地域や国の産業戦略とも連携しながら、企業等の具体的な実務課題の解決に取組むことで企業等のニーズを踏まえた高度情報専門人材を継続的に多数輩出することにより、地域や我が国の産業振興に大きく資する取組となっているか。

取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
米国アリゾナ州立大学(ASU)との協議を行い、令和６年度から２名の講師を本学に短期招聘し、集中講義やセミナーを通じて最先端の情報科学における研究成果を学ぶ機会を提供することとなった。本学では、数理･データサイエンス･AI教育プログラム認定制度（MDASH）において、リテラシーレベルと応用基礎レベルの全学での認定を終え、現在、大学院生向けのエキスパートレベル教育の実施を開始している。また、応用基礎レベルを認定する人材を大幅に増やす試みとして、情報科学部卒業生の全員に応用基礎レベル認定が出来るよう申請準備を行っている。他大学との連携については、広島県内の文系大学を中心に情報･データ教育の教材開発を共同で行っており、同様な取組を次年度も継続して行う。また、現在、ホームページ上で公開しているリテラシーレベル教材、応用基礎レベル教材のラインアップを増やし、MDASH参加校が比較的手軽に活用できるような取組を進める。また、MDASH中国ブロックの取組では、年に２回のシンポジウムと３回のワークショップを開催した。様々な大学と異なるバックグラウンドを持つ学生に対して効果的に情報･データ教育を広域展開するための情報交換を行った。広島県、中国経済産業局、中国経済連合会との連携を通じて、大学だけでなく産業界や行政と協力しながら高度情報人材を協力して育成するための事業（企業との連携による大学･大学院講義の開設、メタバース上での就職支援活動、プログラミングコンテストや高大接続イベントの共同開催）を行った。 UPWARDSでは日米11大学との連携を開始し、米国大学ではバデュー大学との共同研究、学部学生の交流を開始した。また、ボイジー州立大学とも連携を深めることで合意した。令和7年度設置の半導体システムプログラムに関してカリキュラム作成を行った。情報分野や情報デバイスとしての半導体設計ニカ点を置いたカリキュラムとした。せとうち半導体コンソーシアムでは、「CMOSアドバンストコース」を設置し、半導体関連メーカーの第一線に立つ技術者の講義を5回(8日間)にわたり実施した。学生にも聴講機会を与え、講師及び他の社会人技術者との接点を増加させた。各教員の共同研究にも積極的に学生を参加させることにより、産業界での課題の理解を行った。マイクロンメモリジャパンと共同で教養教育科目を開発し、令和6年度第1タームに開講する。	

＜６つの観点＞

①　大学院博士課程を含め、情報系分野の大学院において、大規模な定員増を実施する計画となっているか。

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
各Pを合わせ、Mは令和11年度までに189名（増員後225名）、Dは令和13年度までに20名（増員後30名）の定員増を計画している。情報科学P･DX科学Pについては、M（定員170名）は、ひろしまDX人材育成奨学金50名、学外実績30名、内部進学（進学率1年次59.7%×130名、編入生100%×20名）97名で170名以上（177名）を確保する。D（定員20名）は、3年平均入学者数は内部進学2名であるが、4.7倍のM定員規模拡大で9名、学外実績7名、社会人リスキル教育を通じた社会人学生4名（連携企業4社×1名）により20名を確保する。半導体システムP（定員M55名、D10名）は、内部進学実績(M67.6%×65=43名、D6.3%×55=3名)、学外入学実績(M１名、D1名)に加え、米国のバデュー大学との連携による留学生(M10名、D5名)やMicron Technology奨学金、高専専攻科生推薦入試(呉高専と協定締結)の導入、社会人リスキル教育を通じた社会人学生によりM55名、D10名を確保する。	令和７年から情報科学部入学定員180名、編入学定員20名への拡充に向け大学全体の収容定員増の認可申請を行っており、高等学校や工業高等専門学校に対して入試説明会を複数回実施した。学部入試では、学校推薦型入試（地方創生枠）の入学定員45名のうち15名を女子学生枠とすることで、多様な人材を集めることを計画した。また、編入学については、優秀な工業･商船高等専門学校生を推薦入試で確保するために、近隣の工業高専や商船高専への説明会を行った。 高校訪問や高専訪問、高専との共同研究を通じて学部学生の定員に見合う入学志願者の増加に努めた。	

②　広く企業や自治体等と連携し、企業や自治体等が求める人材ニーズに的確に応える計画となっているか。

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
産業界におけるIT技術者の需要はM学生に対して特に顕著であり、令和5年4月時点で、情報科学Pへの求人企業数は251社、求人数438名となっている。さらに、高度DX推進人材の県内定着を目的として令和4年に構築された県内産学官金の地域連携プラットフォーム「ひろしまDX人材育成・確保推進産学協議会」の活動により、ICT以外の産業界におけるDX推進人材のニーズも増加している。情報科学Pでは、高度IT人材、DX科学Pでは、高度DX推進人材の育成を行う。両PとtASUとのカリキュラム開発や学生交流、セミナーの開催、教員派遣などの連携を行い強化する。半導体システムPでは、本学を中心とした「せとうち半導体共創コンソーシアム」（現在、参画団体数：21）で研究開発とともに人材ニーズを的確に把握し、大学・企業・行政が一体となって高度情報半導体人材の育成を行う。また、バデュー大学を中心とした米国の複数大学と連携し、国際的半導体企業等へのインターンシップを実施し、世界で活躍できる人材を育成する。	令和５年度では、298件の求人数があり，学部と大学院修士課程の合計で80名の学生が就職しており、その中の11名が広島県内企業での就職となった。令和５年に実施した学部学生数の増員による効果は、まだ確認することは尚早であるが、引き続き、地元企業との連携を通じて様々な分野におけるDX人材の輩出を行う。アリゾナ州立大学との連携は令和６年から開始するため、最先端の研究成果を学ぶ機会をもつ大学院生が就職活動を行う令和７年に向けて、教育内容の検討を協力して実施する。令和６年度はアリゾナ州立大学から２名の教員を招聘し、主にAI分野における教育・研究連携を行うことを計画している。 産官学で設立したせとうち半導体コンソーシアムでの共同研究活動を開始した。研究室に所属している4年生及び大学院学生には積極的に共同研究に参加することにより、高度情報人材育成に対するOJTを行っている。	

フォローアップ対象年度	令和5年度	大学名	広島大学

③　連携企業等からの寄附等、外部資金の持続的な獲得が見込める計画となっているか。

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
情報科学P及びDX科学Pでは、令和５年度から広島県の給付型奨学金「ひろしまDX人材育成奨学金」で毎年50名に最長6年間受給され、「ひろしまDX人材育成・確保推進産学協議会」を通じ高度情報専門人材の地元定着の取組を開始している。情報関連企業との連携は、過去３年で12件の受託研究、民間企業技術者や行政職員などを対象にした社会人リスキル教育を行っており、令和５年にも新たに社会人リスキルコースを開設した。このような活動を通じて、外部資金の持続的な獲得が見込める。 半導体システムPでは、日米半導体連携パートナーシップ「UPWARDS for the future」における取組でMicron Technology Inc.が出資することなり、日米大学間の学生交流、研究者の交流、国際共同研究の推進により、高度情報専門人材を育成する。Micron Technology Inc.は、特に女子学生への支援の強化と掲げ、学部入学時に女子枠を設け、その中の成績優秀者に奨学金を給付することを検討する。	令和５年は「ひろしまDX人材育成奨学金」の支給を情報科学部50名の学生に支給した。また、広島県からの要請により令和５年にはさらに2名追加で奨学金を支給することが出来た。令和５年度の新規受託研究は1件であり、令和６年度も継続して企業との共同研究を推進する。また、令和５年には延べ177名が参加した社会人リスキルコースを開設し、地域における産業界の技術水準の向上に寄与した。 UPWARDS関連で、学部1・2年生10名がパデュー大学を訪問し、1週間講義や半導体関連設備の見学を行った。渡米前には、広大内で半導体の基礎知識に関する講義を行っている。次年度には、この枠組みでパデュー大学からの交流生を受け入れる予定である。	

④　高度情報専門人材を育成する大学・高等専門学校において質の高い教育を行う教員を養成・輩出する取組（当該分野の大学教員等の育成）を行う計画となっているか。

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
情報科学P及びDX科学Pでは、「富士通次世代コンピューティング共同研究講座」における共同研究を通じて、D学生など若手研究者の育成に繋げる。半導体システムPでは、パデュー大学との日米連携の枠組みで国際共同研究を行い、国際学会発表、論文執筆の機会を増やす。博士号取得後は、連携先大学のポスドクフローとして有給採用する制度を立ち上げ、国際通用性の高いプロジェクト推進人材の恒常的な育成を計画している。また、本学では、D学生を対象とした教育能力を身に付けるための取組（プレFD）として、三階層TA制度を活用し、実践的な教育経験の機会を提供するとともに、FD委員会教育能力開発部会が提供する新任教員研修プログラムをD学生にも開放し、学識を教授するために必要な能力を培うための機会を提供している。	「富士通次世代コンピューティング共同研究講座」の運用が本格化し、学内での各種講演会を開設することでハードウェア分野における先進的な教育・研究を推進している。特に、富士通社員にある集中講義を開設することで、企業で実践されている次世代計算機の研究推進を学ぶ機会を提供している。富士通からの社員が本学に常駐し、教員や博士課程の学生との共同研究を実施中である。 国際共同研究については、パデュー大学が行う半導体メモリ関連の研究について、米国NSFへの申請に参加し、採択されれば共同研究を行っていくことになっている。今後、論文数増加と共同研究に伴う人材交流を行う。	

⑤　連携企業等から実務経験のある人材の大学への派遣、学生が連携企業等においてインターンシップを実施する体制の構築、連携企業等との共同研究実施が見込める計画となっているか。

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
現在、情報科学Pでは2名の実務家教員がいるが、特にDX科学Pは、デジタル技術の応用に関する教育・研究を行うため、3名雇用する計画であり、DX推進に関わる専門教育を広く展開する。半導体システムPは、Micron Technology Inc.などの半導体関連企業のエキスパート人材を２名迎え入れ、先端的な半導体産業に関連した内容の講義を行う。 情報科学P及びDX科学Pでは、アリゾナ州立大学大学院で行われている専門科目やPBL科目を導入することで、高度なデジタル技術の研究・開発に着目したカリキュラムを構築する。また、「AIOpsエンジニア育成特定プログラム」では、短期インターンシップを行う。マツダ（株）との共同研究では、大学院生が参画し、教育と研究を一体化した産学連携を進めている。今後は、マイクロンメモリジャパン（株）や中国電力（株）などとも取組を行う。 半導体システムPでは、パデュー大学との連携とMicron Technology Inc.等国際企業への有償インターンシップや共同研究を通じ、世界で活躍できる人材を育成する。インターンシップは大学と連携企業に派遣する。例えば、本学学生はパデュー大学経由でアメリカ企業へインターンシップができるようにする。また、せとうち半導体共創コンソーシアムを通じ、M・D５年一貫を大学院入学時に希望する学生には優先的に奨学金（Micron資金）の給付や有償インターンシップなどを準備し、博士号取得者の増加を図る。	令和６年中の7人の新規教員の雇用について確定でき、情報科学分野における教育体制を強化することができた。実務家教員については、引き続き３人の客員教授の雇用を行い、企業との共同研究、社会人リスキル教育のサポートを行った。DX科学プログラムの開設は令和８年度であり、開設時期に合わせて３人程度の教員の補充を行うことが計画されている。アリゾナ州立大学との連携については、これまでに2回の訪問を行い、令和６年から毎年２人の教員を短期招聘し、本学大学院生向けの高度な教育を実施する集中講義を開設することが決まった。また、令和6年度は本学75+75周年記念事業の一環として、スマート社会における情報技術の進展に関するワークショップを開催し、高校生・大学生・一般の聴講者を対象に、アリゾナ州立大学で実践されている実践実務教育の紹介イベントを開催する。（株）マツダと連携して開設される「AIOpsエンジニア育成特定プログラム」は令和５年度に試行し、令和６年度から本格的な運用を開始する。マイクロンメモリジャパン（株）や中国電力（株）との連携は、令和６年から開始する本学情報科学部のとコーオプ教育（数か月間の有償インターンシップ型科目）の準備が整ったので、令和８年度に新しいエキスパートレベル教育の実施に向けて継続的に協議を行っている。 Micron Technology Inc.からエキスパート人材を客員教授として迎え講義を行った。次年度は、新しい教養教育科目を立ち上げるとともに、大学院でもMicron Technology Inc.及び半導体製造装置メーカー14人の客員教授によるオムニバス講義を立ち上げ、専門的な知識に関する講義を行うことが決まった。	

⑥　他大学等の学生も参加できる情報教育プログラムの実施や教材作成等を含む質の高い取組を行う計画となっているか。

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
情報科学P及びDX科学Pでは、「AIOpsエンジニア育成特定プログラム」などを提供し、大学院を有する近隣他大学との教材開発や講師派遣などの大学院エキスパートレベル教育での連携を推進する。「ひろしまDX人材育成・確保推進産学協議会」や中国ブロック拠点校事業の活動を通じ、大学院を有する他大学との連携を進める。特に、中国５県の他国立大学と共通講義の開設、教員の相互派遣、連携企業の相互拡充を行いつつ、地域全体で実践的な大学院教育の高度化に取り組む。 半導体システムPでは、「半導体CMOS実践プログラム」と「CMOSアドバンストコース」で、連携大学学生を受け入れている。国立高等専門学校機構と連携しており、高専学生への最新の研究動向の紹介や、本学教員と高専教員の共同研究に高専学生を参画させる取組を行っている。令和４年度には、富山高専、新居浜高専、呉高専、徳山高専、宇部高専、熊本高専で半導体に関する最新の研究動向の紹介セミナーを開催し、富山高専、明石高専、宇部高専、大島商船高専、久留米高専教員との学術共同研究を行った。今後も他の高専に向けてこの取組を拡充させる。	「AIOpsエンジニア育成特定プログラム」を開講し、本学大学院生7名の登録があった。また、同じ教材を活用し、（株）マツダの社内リスキル教育を実施し、16名の受講者があった。また、令和5年12月にMDASH拠点校会議に出席し、全国で試行されているエキスパートレベル教育の内容について情報交換を行い、本学の取組内容に反映することを計画した。近隣大学との連携では、令和５年度は広島県下の私立大学（比治山大学、福山平成大学、広島文教大学）と共同でリテラシーレベル教材開発を行い、数理・データサイエンス・AI教育の導入やリテラシーレベル認定制度への準備に協力した。また、中国ブロックの他大学とは、令和５年度に２回のシンポジウムと３回のワークショップの開催を通じて、リテラシーレベルと応用基礎レベル教育の内容や教材の相互利用について協議しており、その最初のステップとして、本学で開発した教材をホームページ上で閲覧できるようにした。他国立大学との共通講義の開設や教員の相互派遣については、多くの解決すべき課題があることが判明したが、中国経済産業局との連携を通じて、各県の大学の要望に応じて企業からの講師派遣を依頼するフレームワークを構築し、各大学の特徴に応じた実務教育が行えるような仕組みを導入した。 半導体関係では、国立高等専門学校機構と連携し、高専学生への最新の研究動向の紹介や、本学教員と高専教員の共同研究に高専学生を参画させる取組を行った。令和5年度も、富山高専、新居浜高専、呉高専、徳山高専、宇部高専、熊本高専で半導体に関する最新の研究動向の紹介セミナーを開催し、富山高専、久留米高専教員との学術共同研究を行った。	

５－１.大学院（修士課程、博士課程）における学生の研究活動実績

令和5年度　大学院在籍学生の論文の採択・受賞状況や各コンペティション等の受賞状況、筆頭著者論文数等、学生の研究活動実績を記載してください。

先進理工系科学研究科先進理工系科学専攻情報科学プログラム（博士課程前期）
学術雑誌採択論文(査読付き)　6本（うち、筆頭著書論文2本）
コンペティション受賞　13件（うち、論文8件、ポスター発表1件、プレゼンテーション1件、アプリケーション開発1件、その他2件）

５－２.大学院（修士課程、博士課程）における学生の卒業後の進路状況

令和5年度　大学院卒業者の卒業後の進路状況を記載してください。就職先企業名や研究機関名、業種、職種、定量的なデータ等を示し具体的に記載してください。

令和5年度先進理工系科学研究科先進理工系科学専攻博士課程前期情報科学プログラム修了者63人（大学院博士課程後期への進学9名、就職46名、その他8名）
主な就職先は、NTT西日本、シャープ、マツダ、マイクロン、日立製作所、ソフトバンク、野村総合研究所ほか。業種は、製造業（8名）、情報通信業（31名）など。

フォローアップ対象年度	令和6年度	大学名	広島大学

2.申請資格の確認

該当しない場合は、チェックしてください。

ⅰ） 学生募集停止中の大学

該当無し	■ チェック

ⅱ） 学校教育法第109条の規定に基づき文部科学大臣の認証を受けた者による直近の評価の結果、「不適合」の判定を受けている大学

該当無し	■ チェック

ⅲ） 「私立大学等経常費補助金」において、定員の充足状況に係る基準以外の事由により、前年度に不交付又は減額の措置を受けた大学

該当無し	■ チェック

ⅳ） 設置計画履行状況等調査において、「指摘事項（法令違反）」が付されている大学

該当無し	■ チェック

ⅴ） 大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準（平成15年文部科学省告示第45号）第２条第１号又は第２号のいずれかに該当する者が設置する大学

該当無し	■ チェック

3.申請要件の取組状況

令和6年度 の取組が当初の計画通りに進んでいる、又はチェック項目に該当する場合はチェックしてください。計画通りに進んでいない、又はチェック項目に該当しない場合は右欄に課題（理由）とその対応を記載してください。

①	高等教育の修学支援新制度において、大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第８号）に基づき、財務状況や収容定員充足率が適正であることを含めた要件を満たすことの確認を受けた大学であること。なお、学部を置かない大学や新設予定の大学で、応募時点において、高等教育の修学支援新制度における要件確認の対象に該当しないものは、本要件は適用されない。	確認を受けている	■ チェック
		対象に該当しない	□ チェック
②	志願者数の状況や入学定員及び収容定員充足率等を踏まえた十分な学生確保の見通しを備えた計画となっていること。	計画通りに進んでいる	■ チェック
③	産業界を含む社会のニーズ等を踏まえ、学修目標の具体化、体系的な教育カリキュラムの編成及び大学での学修に必要な資質・能力等を評価する入学者選抜が適切に実施され、そのための体制を構築する計画となっていること。（その際、国際的な質保証の枠組みを活用するなど出口における質保証にも十分留意することが重要。）	計画通りに進んでいる	■ チェック
④	特定成長分野のうちデジタル分野の人材を育成するための戦略、適切な管理・教育体制や教育研究環境の整備を図る計画となっていること。	計画通りに進んでいる	■ チェック
⑤	計画の対象となる研究科・専攻等において、実務経験のある教員等による授業科目を配置する計画となっていること。	計画通りに進んでいる	■ チェック
⑥	特定成長分野のうち情報系分野に係る研究科、専攻、コース等の設置・増員（研究科、専攻の定員の増員を伴わないものを含む。）、専攻に係る課程の変更（研究科、専攻、コース等の設置・増員及び専攻に係る課程の変更に伴う学部、学科、コース等の設置・増員（学部、学科の定員の増員を伴わないものを含む。）を含む。）（以下「研究科等の設置等」という。）による体制強化の計画であること。なお、コース等の設置・増員による体制強化の場合は、学則において、コース等の募集人員数を明記する計画であること。	計画通りに進んでいる	■ チェック
⑦	社会において具体的な人材ニーズが現に存在する、又は、その十分な見通しのある分野に係る研究科等の設置等の取組であること。	計画通りに進んでいる	■ チェック
⑧	教育の実績を有する既設の情報系分野に係る研究科、専攻（授与する学位が、学位種類分野変更基準に定める理学関係、工学関係又は農学関係のいずれかを学位の分野として含むものに限る。）を有する大学において、高度情報専門人材を育成する計画であること。（大学（特例枠）については、既設の情報系分野に係る学部、学科（授与する学位が、学位種類分野変更基準に定める理学関係、工学関係又は農学関係のいずれかを学位の分野として含むものに限る。）を有する大学とする。）	既設の情報系分野に係る研究科等を有する	■ チェック
⑨	機構による事業計画の選定があった日から２年を経過する日を含む年度の末日までに、計画の対象となる研究科等の設置等を行う計画であること。	計画通りに進んでいる	■ チェック
⑩	計画の対象となる研究科等の設置等において、大学院修士課程（博士前期課程を含む。）15名以上又は大学院博士課程（博士後期課程を含む。）５名以上の入学定員の増員を行う計画であること。	計画通りに進んでいる	■ チェック
⑪	国立大学について、大学全体の収容定員の増員を伴う学部定員の増員を行う場合は、国立大学法人の第５期中期目標期間終了時までに他学部・他学科を中心に同規模の定員減を行う計画であること。	計画通りに進んでいる、又は対象に該当しない	■ チェック
⑫	教員の確保・配置状況等を踏まえた実現可能性の高い計画になっていること。	計画通りに進んでいる	■ チェック
⑬	文部科学省が実施する数理・データサイエンス・ＡＩ教育プログラム認定制度における「応用基礎レベル」について、大学又は計画の対象となる学部若しくは計画の対象となる研究科に関連する主な学部が認定を受けている、又は認定を受ける計画があること。なお、学部を置かない大学で、本認定制度の対象に該当しないものについては、本要件は適用されない。	認定を受けている、又は対象に該当しない	■ チェック
		認定を受ける計画が進んでいる	□ チェック
⑭	文部科学大臣から国際卓越研究大学として認定を受け、支援を受けている大学でないこと。	認定を受けておらず申請する意向もない	■ チェック

フォローアップ対象年度	令和6年度	大学名	広島大学

４－１.審査要項における確認項目の計画及び取組状況

令和6年度　の取組実績を記載し、申請時に選択した項目にチェックを入れ計画を記載してください。取組実績は会社名や大学名、定量的なデータ等を示し具体的に記載してください。検討中であっても状況を記載してください。

計画の進捗の遅れや実施困難な事項がある場合には、課題（理由）とその対応を記載してください。計画通りに実施できており、その他課題がない場合に限り記載は不要です。

①　地域において自治体や企業等と連携した取組を行う計画となっているか。

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
3．申請要件③に記載している、マツダ（株）との「AIOpsエンジニア育成特定プログラム」、マイクロンメモリジャパン（株）などとの「CMOSアドバンストコース」など企業と連携した高度情報専門人材の育成プログラムに加えて、広島県からの「ひろしまDX人材育成奨学金」、Micron Technology Inc.からの「Micron奨学金」、せとうち半導体共創コンソーシアムからの金銭的・人的支援を受けることが既に決定している。せとうち半導体共創コンソーシアムと連携し、半導体技術や産業への理解を深める「高等学校及び高等専門学校との連携による半導体人材育成の早期育成プロジェクト」などを開催し、地域産業界との連携においては参加企業による技術セミナー・合同シンポジウムを行うこととしている。また、令和4年にはひろしまDX人材育成・確保推進産学協議会等と連携し、メタバース上で地元企業と大学生・大学院生が就活マッチングを行う「HIROSHIMA就活3.0～共に創ろう未来の企業説明会～」を開催しており、今後も高度情報専門人材の地域産業界への仲介イベントを継続的に行うこととしている。	「AIOpsエンジニア育成特定プログラム」を実施し、受講生は博士課程前期学生11人、学部4年生での早期履修者が5人であった。「CMOSアドバンストコース」を年間6回11日間開催し、社会人、学生を含め延べ1,500人以上が受講した。広島県からの「ひろしまDX人材育成奨学金」の受給者は、本学割り当ての50人に加え、最終的に10人に追加の受給が決定した。Micron Technology奨学金については、広島大学大学院において、博士課程前期学生で、かつ博士課程後期に進学希望の者で、半導体関連講義２科目（4単位）の成績が良好であるものには、博士課程前期2年次より10万円/月の奨学金を支援する制度を設計し、7人の希望者に対して令和7年度からの支給を決定した。広島大学AI・データイノベーション教育研究センター主催により、参加企業17社、参加学生90人により、メタバース上で地元企業と大学生・大学院生が就活マッチングを行う「HIROSHIMA就活スタジアム」を開催した。	

②　初等中等教育段階の学校との連携に関する取組を行う計画となっているか。

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
大学のオープンキャンパスでは、高校生だけでなく他大学学生や高専学生を対象とした入試説明会や模擬授業を行っている。令和4年からは高大接続事業として「サマーキャンプ」を実施しており、高校生が情報科学分野の適性を把握するため、大学講義の模擬授業を2日間行っている。サマーキャンプの修了は情報科学部における学校推薦入試（地方創生枠）の推薦要件の一つとして選択できる。令和4年は、県内だけでなく広く全国から参加者があり、参加実績は114名であった。国立高等専門学校機構と連携し、教員間の共同研究に高専学生が参画し、これを契機に本学への編入学、大学院入学を促す取組を行っている。令和５年に締結した呉高専との高専専攻科生推薦入試に係る協定では、本学教員と高専教員との共同研究への参画が出願要件の１つとなっている。令和4年には、本学教員が富山高専、明石高専、宇部高専、大島商船高専、久留米高専の教員と共同研究を行っており、高専学生も多数参加している。高校生を対象としたせとうち半導体共創コンソーシアムとの連携イベントでは、太陽電池の製作や評価の実習を行い、半導体技術への関心を高めるための取組を行っている。今後もこれらの取組を拡充しつつ継続して行うこととしている。	高大接続事業として「サマーキャンプ」を実施し、２日間の大学講義の模擬授業を行い172人が受講した。また、サマーキャンプの修了を学部における学校推薦型入試（地方創生枠）の推薦要件の１つとできる取組も引き続き行った。実施後のアンケートでは、回答者の7割以上が満足した回答した。高等専門学校との共同研究、高等専門学校専攻科生の推薦入試の対象校の拡大活動としては、連携協定を締結した高等専門学校が10校に拡充し、6件の共同研究を実施した。高校生等を対象としたせとうち半導体コンソーシアム（令和6年度に「せとうち半導体共創コンソーシアム」から改称）との連携イベントでは、本学教員が24会場に出向き、高校生には太陽電池実習を実施し、中学・高校の教員に対しては半導体関連の講義及び半導体産業技術研究所、マイクロンメモリジャパン（株）の見学を行った。	

③　女子学生、社会人学生、留学生等の確保に向けた特色ある取組を行う計画となっているか。

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
3．申請要件③に記載のとおり、マツダ（株）との「AIOpsエンジニア育成特定プログラム」、マイクロンメモリジャパン（株）などとの「CMOSアドバンストコース」と同一のカリキュラムを社会人も履修可能としており、社会人リスキル教育との相乗効果を通じて、M・Dにおける社会人学生を獲得する。また、情報科学部では、学校推薦入試（地方創生枠）に15名の女子枠を設けることで、「ひろしまDX人材育成奨学金」を活用しながら大学院まで一貫して学びを継続し、将来のキャリアパスの「見える化」が容易になる取組を開始する。大学院の半導体システムPでは、Micron Technology Inc.の資金を活用した女子学生を中心とした給付型奨学金、M・Dを通じた5年コースへの給付型奨学金を創設して、M・Dに入学を希望する優秀な学生を獲得する。また、海外大学との教育・研究における連携を強化し、世界中から優秀な学生を本学に迎え入れる仕組みを構築する。例えば、半導体システムPの有償インターンシップでは、米国大学の学生は本学経由でマイクロンメモリジャパン（株）でのインターンシップを、本学学生は米国大学経由で米国の企業でインターンシップが行えるよう計画しており、学生間の交流を活発化することで留学生の獲得にも貢献する。	社会人リスキル教育として開発した教材を「AIOpsエンジニア育成特定プログラム」に一部改変して利用することで、大学院教育と社会人リスキル教育の相乗効果が得られるようなカリキュラムを実施した。情報科学部の学校推薦型入試（地方創生枠）に15人の女子枠を設けるための学内整備を行った。博士課程後期学生の経済的支援に関しては、先進理工系科学研究科独自の制度「広島大学先進理工系科学研究科研究奨学金」や大学院リサーチフローシップ等により対応しており、中でも女子学生については、広島大学女性科学技術フェローシップ制度を実施した。UPWARDS資金を利用して、博士課程後期進学希望者の成績優秀（半導体関連講義２科目で「優」の評価が必要）な博士課程前期の２年生に対して、10万円/月の奨学金の給付を開始した。	

④　他の大学（外国大学を含む。）・高等専門学校等と連携した取組を行う計画となっているか。

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
３.申請要件③に記載のとおり、情報科学PとDX科学Pはアリゾナ州立大学、半導体システムPはパデュー大学といった海外有力大学と連携して国際共同研究や相互補完的な教育に関する取組を行う。具体的には、大学院カリキュラムの共同開発や教員や学生の相互派遣を通じて、研究・教育力を高める。また、学生交流やセミナーなどを計画する。高専等との連携については、情報分野では、教材の共同利用に向けて、本学ホームページ上で数理・データサイエンス・AI教育強化事業認定コンテンツの提供を開始しており、地域における高専との教育連携が進んでいる。 半導体分野における高専との共同研究について、富山高専、明石高専、宇部高専、大島商船高専、久留米高専と実施しており、令和４年には、富山高専、新居浜高専、呉高専、徳山高専、宇部高専、熊本高専において半導体に関する最新の研究動向の紹介セミナーを開催した。高専専攻科修了生の推薦入試制度（現在は、呉工業高等専門学校と協定締結）も徐々に他高専にも拡充し、高度情報専門人材を共同で育成する仕組みを構築する。	米国アリゾナ州立大学(ASU)との協議を行い、令和６年度から２人の講師を本学に短期招聘し、集中講義やセミナーを通じて最先端の情報科学における研究成果を学ぶ機会を提供した。また、広島大学創立75+75周年記念事業及びホームカミングデーに米国アリゾナ州立大学(ASU)から講師を招いて講演を行った。さらに、本学からも2度訪問し、充実した研究打合せを行った。高等専門学校との共同研究、高等専門学校専攻科生の推薦入試の対象校の拡大活動としては、連携協定を締結した高等専門学校が10校に拡充し、6件の共同研究を実施した。先進理工系科学研究科量子物質科学プログラムの博士課程後期2年生の学生1人を留学生としてパデュー大学に令和7年度に派遣することを決定した。更に、パデュー大学と共同で米国国立科学財団（National Science Foundation）に研究提案を行い採択された。また、令和6年度のIWNT（International Workshop on Nanodevice Technologies）にて、パデュー大学のProf. Muhammad Ashraful Alamを招待し基調講演してもらった。	

４－２.審査要項における確認項目（３つの取組、６つの観点）の計画及び取組状況

令和6年度　の取組実績を記載し、申請時に選択した項目にチェックを入れ申請時の計画を記載してください（３つの取組のみ計画の記載は不要です）。取組実績は会社名や大学名、定量的なデータ等を示し具体的に記載してください。検討中であっても状況を記載してください。

計画の進捗の遅れや実施困難な事項がある場合には、課題（理由）とその対応を記載してください。計画通りに実施できており、その他課題がない場合に限り記載は不要です。

＜３つの取組＞

- チェック　［１］海外のトップ大学と連携するなどして、デジタル分野の第一人者として国際的に活躍できる世界トップレベルの研究者や技術者の輩出を図る取組となっているか。
- チェック　［２］デジタル人材の不足を解消するために、自大学の教育の高度化や定員の大幅な拡充を図るのみならず、他の大学・高等専門学校の学生も広く参加可能な優れた情報教育プログラムを構築開させる取組となっているか。
- チェック　［３］地域や国の産業戦略とも連携しながら、企業等の具体的な実務課題の解決に取組むことで企業等のニーズを踏まえた高度情報専門人材を継続的に多数輩出することにより、地域や我が国の産業振興に大きく資する取組となっているか。

取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
米国アリゾナ州立大学(ASU)との協議を行い、令和６年度から２人の講師を本学に短期招聘し、集中講義やセミナーを通じて最先端の情報科学における研究成果を学ぶ機会を提供した。また、広島大学創立75+75周年記念事業及びホームカミングデーに米国アリゾナ州立大学(ASU)から講師を招いて講演を行った。さらに、本学からも2度訪問し、充実した研究打合せを行った。また、パデュー大学と共同で米国国立科学財団（National Science Foundation）に研究提案を行い採択された。また、令和6年度のIWNT（International Workshop on Nanodevice Technologies）にて、パデュー大学のProf. Muhammad Ashraful Alamを招待し基調講演してもらった。これらにより、最先端の情報科学における研究成果を学ぶ機会が提供できた。数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度（MDASH）において、大学院生向けのエキスパートレベル教育の実施を開始している。また、応用基礎レベルを認定する人材を大幅に増やす試みとして、情報科学部卒業生の全員に応用基礎レベルの修得が認定された。他大学との連携については、広島県内の文系大学を中心に情報・データ教育の教材開発を共同で行っており、同様な取組を次年度も継続して行う。ホームページ上で公開している「テラシーレベル教材、応用基礎レベル教材を整理し、MDASH参加校が比較的手軽に活用できるような取組を進める。また、MDASH中国ブロクの取組では、２回のシンポジウムと３回のワークショップを開催した。広島県、中国経済産業局、中国経済連合会との連携を通じて、大学だけでなく産業界や行政と協力しながら高度情報人材を協力して育成するための事業（企業との連携による大学・大学院講義の開設、メタバース上での就職支援活動や高大接続イベントの共同開催）を行った。令和7年度から設置される半導体システムプログラムのカリキュラムを設計し、旧電子システムプログラムに比べ情報関連、デザイン関連講義を選択必修に追加するなど、半導体に特化したプログラムとして充実した科目群を用意した。また、教養教育科目として開設した「広島と世界を結ぶ半導体」は、約90人の受講があった。せとうち半導体コンソーシアムの協力の下に展開しているCMOSアドバンストコースは、６回11日間で26講座開講し、延べ社会人1,387人、学生174人が参加した。	

＜６つの観点＞

①　大学院博士課程を含め、情報系分野の大学院において、大規模な定員増を実施する計画となっているか。

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
各Pを合わせ、Mは令和11年度までに189名（増員後225名）、Dは令和13年度までに20名（増員後30名）の定員増を計画している。情報科学P・DX科学Pについては、M（定員170名）は、ひろしまDX人材育成奨学金50名、学外実績30名、内部進学（進学率1年次59.7%×130名、編入生100%×20名）97名で170名以上（177名）を確保する。D（定員20名）は、3年平均入学者数は内部進学2名であるが、4.7倍のM定員規模拡大で9名、学外実績7名、社会人リスキル教育を通じた社会人学生4名（連携企業4社×1名）により20名を確保する。半導体システムP（定員M55名、D10名）は、内部進学実績(M67.6%×65=43名、D6.3%×55=3名)、学外入学実績(M1名、D1名)に加え、米国のパデュー大学との連携による留学生(M10名、D5名)やMicron Technology奨学金、高専専攻科生推薦入試(呉高専と協定締結)の導入、社会人リスキル教育を通じた社会人学生によりM55名、D10名を確保する。	令和７年度から情報科学部入学定員180人、編入学定員20人への拡充に向け、入試を実施し、182人と編入学生21人の学生を確保した。大学院博士課程前期情報科学プログラムでは、69人の入学者であったが、令和７年度から34人増員の70人の入学定員とする計画となっている。	

②　広く企業や自治体等と連携し、企業や自治体等が求める人材ニーズに的確に応える計画となっているか。

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
産業界におけるIT技術者の需要はM学生に対して特に顕著であり、令和5年4月時点で、情報科学PへのM求人企業数は251社、求人数438名となっている。さらに、高度DX推進人材の県内定着を目的として令和4年に構築された県内産学官金の地域連携プラットフォーム「ひろしまDX人材育成・確保推進産学協議会」の活動により、ICT以外の産業界におけるDX推進人材のニーズも増加している。情報科学Pでは、高度IT人材、DX科学Pでは、高度DX推進人材の育成を行う。両PともASUとのカリキュラム開発や学生交流、セミナーの開催、教員派遣などの連携を行い強化する。半導体システムPでは、本学を中心とした「せとうち半導体共創コンソーシアム」（現在、参画団体数：21）で研究開発とともに人材ニーズを的確に把握し、大学・企業・行政が一体となって高度情報半導体人材の育成を行う。また、パデュー大学を中心とした米国の現役大学と連携し、国際的半導体企業等へのインターンシップを実施し、世界で活躍できる人材を育成する。	令和６年度では、283件の求人数があり、学部と大学院修士課程の合計で81人の学生が就職しており、その中の12人が広島県内企業での就職となった。引き続き、地元企業との連携を通じて様々な分野におけるDX人材の輩出を行う。県内産学官金の地域連携プラットフォーム「ひろしまDX人材育成・確保推進産学協議会」の後援により、メタバース上で地元企業と大学生・大学院生が就活マッチングを行う「HIROSHIMA就活スタジアム」を開催し、企業17社、学生90人の参加があった。本学を中心とした「せとうち半導体コンソーシアム」への参加企業は28社（令和7年3月）となった。マイクロンメモリジャパン（株）と関連装置企業と大学院講義「半導体メモリ技術概論」を開講し、最終講義はマイクロンメモリジャパン（株）のクリーンルーム内までの見学を実施した。	

フォローアップ対象年度	令和6年度	大学名	広島大学

③　連携企業等からの寄附等、外部資金の持続的な獲得が見込める計画となっているか。

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
情報科学P及びDX科学Pでは、令和５年度から広島県の給付型奨学金「ひろしまDX人材育成奨学金」で毎年50名に最長6年間受給され、「ひろしまDX人材育成・確保推進産学協議会」を通じ高度情報専門人材の地元定着の取組を開始している。情報関連企業との連携は、過去３年で12件の受託研究、民間企業技術者や行政職員などを対象にした社会人リスキル教育を行っており、令和５年にも新たに社会人リスキルコースを開設した。このような活動を通じて、外部資金の持続的な獲得が見込める。 半導体システムPでは、日米半導体連携パートナーシップ「UPWARDS for the future」における取組で Micron Technology Inc.が出資することなり、日米大学間の学生交流、研究者の交流、国際共同研究の推進により、高度情報専門人材を育成する。Micron Technology Incは、特に女子学生への支援の強化も掲げ、学部入学時に女子枠を設け、その中の成績優秀者に奨学金を給付することを検討する。	令和６年度は「ひろしまDX人材育成奨学金」の支給を情報科学部50人の学生に支給した。また、広島県からの要請により令和６年度にはさらに10人追加で奨学金を支給することが出来た。令和５年度の新規受託研究は1件であり、令和６年度も継続して企業との共同研究を推進する。また、令和６年度には新たに㈱ビズリーチと連携協定を締結し、リカレント・リスキル教育について新たな取り組みを展開する基盤を作った。 UPWARDS参画大学のサマーインターンシップを全体的に募集し、下記の人数で派遣することなった。 （令和6年度～） 東京エレクトロン　女子学生向け夏休みのプログラム 2-3人/大学ートータル20-30人 （令和7年度～） Virginia Polytechnic Institute and State University（Virginia Tech）　4 人 Rochester Institute of Technology（RIT）4 人 University of Washington（UW）　2 人	

④　高度情報専門人材を育成する大学・高等専門学校において質の高い教育を行う教員を養成・輩出する取組（当該分野の大学教員等の育成）を行う計画となっているか。

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
情報科学P及びDX科学Pでは、「富士通次世代コンピューティング共同研究講座」における共同研究を通じて、D学生など若手研究者の育成に繋げる。半導体システムPでは、バデュー大学との日米連携の枠組みで国際共同研究を行い、国際学会発表、論文執筆の機会を増やす。博士号取得後は、連携先大学のポスドクフェローとして有給採用する制度を立ち上げ、国際通用性の高いプロジェクト推進人材の恒常的な育成を計画している。また、本学では、D学生を対象とした教育能力を身に付けるための取組（プレFD）として、三階層TA制度を活用し、実践的な教育経験の機会を提供するとともに、FD委員会教育能力開発部会が提供する新任教員研修プログラムをD学生にも開放し、学識を教授するために必要な能力を培うための機会を提供している。	「富士通次世代コンピューティング共同研究講座」では、ハードウェア分野における先進的な教育・研究を推進している。特に、富士通社員にある集中講義を開設することで、企業で実践されている次世代計算機の研究推進を学ぶ機会を提供している。アリゾナ州立大学及びバデュー大学への訪問及び先方教員の招聘等の学術交流を行なった。	

⑤　連携企業等から実務経験のある人材の大学への派遣、学生が連携企業等においてインターンシップを実施する体制の構築、連携企業等との共同研究実施が見込める計画となっているか。

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
現在、情報科学Pでは2名の実務家教員がいるが、特にDX科学P は、デジタル技術の応用に関する教育・研究を行うため、3名雇用する計画であり、DX推進に関わる専門教育を広く展開する。半導体システムP は、Micron Technology Inc.などの半導体関連企業のエキスパート人材を２名迎え入れ、先端的な半導体産業に関連した内容の講義を行う。 情報科学P及びDX科学Pでは、アリゾナ州立大学大学院で行われている専門科目やPBL科目を導入することで、高度なデジタル技術の研究・開発に着目したカリキュラムを構築する。また、「AIOpsエンジニア育成特定プログラム」では、短期インターンシップを行う。マツダ（株）との共同研究では、大学院生が参画し教育と研究を一体化した産学連携を進めている。今後は、マイクロンメモリジャパン（株）や中国電力（株）などと取組を行う。 半導体システムPでは、バデュー大学との連携とMicron Technology Inc.等国際企業への有償インターンシップや共同研究を通じ、世界で活躍できる人材を育成する。インターンシップは大学と連携企業に派遣する。例えば、本学学生はバデュー大学経由でアメリカ企業へインターンシップができるようにする。また、せとうち半導体共創コンソーシアムを通じ、M-D５年一貫を大学院入学時に希望する学生には優先的に奨学金（Micron資金）の給付や有償インターンシップなどを準備し、博士号取得者の増加を図る。	実務家教員については、引き続き３人の客員教授の雇用を行い、企業との共同研究、社会人リスキル教育のサポートを行った。アリゾナ州立大学との連携については、2回の訪問を行い、令和６年度から毎年２人の教員を短期招聘し、本学大学院生向けの高度な教育を実施する集中講義を開設することが決まった。また、令和6年度は本学75+75周年記念事業の一環として、スマート社会における情報技術の進展に関するワークショップを開催し、高校生・大学生・一般の聴講者を対象に、アリゾナ州立大学で実践されている実践実務教育の紹介イベントを開催した。（株）マツダ」連携して開設される「AIOpsエンジニア育成特定プログラム」は令和５年度に試行し、本格的な運用を開始した。マイクロンメモリジャパン（株）や中国電力（株）との連携は、本学情報科学部のとコーオプ教育（8か月間の有償インターンシップ型科目）を実施し、参加学生及び企業からも高評価であった。マイクロンメモリジャパン（株）と関連装置企業と大学院講義「半導体メモリ技術概論」を開講し、マイクロンメモリジャパン（株）から7人、製造装置メーカーから9人の客員教授を迎え、15回の講義を行った。Micron Technology奨学金については、広島大学大学院において、博士課程前期学生で、かつ博士課程後期に進学希望の者で、半導体関連講義2科目（4単位）の成績が良好であるものには、博士課程前期2年次より10万円/月の奨学金を支援する制度を設計し、7人の希望者に対して2025年度からの支給を決定した。またバデュー大学へのインターンシップでは、博士課程後期学生を令和7年度から派遣予定となった。	

⑥　他大学等の学生も参加できる情報教育プログラムの実施や教材作成等を含む質の高い取組を行う計画となっているか。

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
情報科学P及びDX科学Pでは、「AIOpsエンジニア育成特定プログラム」などを提供し、大学院を有する近隣他大学との教材開発や講師派遣などの大学院エキスパートレベル教育での連携を推進する。「ひろしまDX人材育成・確保推進産学協議会」や中国ブロック拠点校事業の活動を通じ、大学院を有する他大学との連携を進める。特に、中国５県の他国立大学と共通講義の開設、教員の相互派遣、連携企業の相互拡充を行いつつ、地域全体で実践的な大学院教育の高度化に取り組む。 半導体システムPでは、「半導体CMOS実践プログラム」と「CMOSアドバンストコース」で、連携大学学生を受け入れている。国立高等専門学校機構と連携しており、高専学生への最新の研究動向の紹介や、本学教員と高専教員の共同研究に高専学生を参画させる取組を行っている。令和４年度には、富山高専、新居浜高専、呉高専、徳山高専、宇部高専、熊本高専で半導体に関する最新の研究動向の紹介セミナーを開催し、富山高専、明石高専、宇部高専、大島商船高専、久留米高専教員との学術共同研究を行った。今後も他の高専に向けてこの取組を拡充させる。	「AIOpsエンジニア育成特定プログラム」を開講し、本学大学院博士課程前期学生11人及び学部4年生での早期履修者5人の登録があった。また、同じ教材を活用し、（株）マツダの社内リスキル教育を実施した。令和6年11月にMDASH拠点校会議に出席し、全国で試行されているエキスパートレベル教育の内容について情報交換を行い、本学の取組内容に反映することを計画した。近隣大学との連携では、数理・データサイエンス・AI教育の導入やリテラシーレベル認定制度への準備に協力した。また、中国ブロックの他大学とは、令和6年度に２回のシンポジウムと３回のワークショップの開催を通じて、リテラシーレベルと応用基礎レベル教育の内容や教材の相互利用について協議している。数理・データサイエンス・AI教育強化拠点コンソーシアム 中国ブロックのホームページにて、19本の動画を含めた数理・データサイエンス・AI教育プログラム応用基礎レベル教材を提供した。高等専門学校との共同研究、高等専門学校専攻科生の推薦入試の対象校の拡大活動としては、連携協定を締結した高等専門学校が10校に拡充し、6件の共同研究を実施した。半導体関係では、国立高等専門学校機構と連携し、高専学生への最新の研究動向の紹介や、本学教員と高専教員の共同研究に高専学生を参画させる取組を行い、高専教員26人との学術共同研究を行った。	

５－１.大学院（修士課程、博士課程）における学生の研究活動実績

令和6年度　大学院在籍学生の論文の採択・受賞状況や各コンペティション等の受賞状況、筆頭著者論文数等、学生の研究活動実績を記載してください。

先進理工系科学研究科先進理工系科学専攻情報科学プログラム（博士課程後期）
学術雑誌採択論文（査読付き）　6本（うち、筆頭著書論文6本）
コンペティション受賞（うち、論文1件）
先進理工系科学研究科先進理工系科学専攻情報科学プログラム（博士課程前期）
学術雑誌採択論文（査読付き）　4本
コンペティション受賞（うち、論文7件）

大学ウェブサイトの情報発信URL　https://www.hiroshima-u.ac.jp/about/awards/winners

５－２.大学院（修士課程、博士課程）における学生の卒業後の進路状況

令和6年度　大学院卒業者の卒業後の進路状況を記載してください。就職先企業名や研究機関名、業種、職種、定量的なデータ等を示し具体的に記載してください。

令和6年度先進理工系科学研究科先進理工系科学専攻博士課程前期情報科学プログラム修了者56人（大学院博士課程後期への進学2人、就職40人、その他14人）
主な就職先は、NTT西日本、富士通、SHARP、マイクロンメモリジャパン、日立製作所、ソフトバンク、野村総合研究所ほか。業種は、製造業、情報通信業など。

フォローアップ対象年度	令和5年度	大学名	広島大学

指摘事項等に対する対応状況を記載してください。

区分	指摘事項等	対応状況
選定時留意事項（R5年度）	大学院において現在外国人留学生の比率が高く日本人学生の比率が低い中で、本事業の目的である我が国における高度情報専門人材の確保にどのように貢献していくか、学生確保や進路選択支援を含めた戦略の構築が求められる。	大学院において高度な情報知識・スキルを獲得した学生を獲得することは容易ではないが、本学では令和5年に学部入学定員70人、令和7年には学部入学定員30人、編入学定員15人を増員し、一学年200人体制で学部教育を実施することが計画されている。よって、大学院の大幅な入学定員増は学部の入学定員増とリンクした形で可能となり、令和11年には情報科学プログラム、DX科学プログラム（新設）の両プログラムで170人の入学を見込んでいる。上記の２つの大学院プログラムに改組することで、理論重視の教育プログラムと実践的スキルを獲得する教育プログラムに拡充し、様々な産業界で活躍する高度情報人材、高度DX推進人材を育成・輩出を目指している。また、アリゾナ州立大学との連携により、国際的に高い水準の研究・教育を実践し、留学制度等を活用した国際人材の育成にも着手する。
選定時留意事項（R5年度）	学生確保の多様性に配慮した、より積極的・効果的なアクションが求められる。	情報科学部では女子学生比率が15%程度にとどまっていることから、令和7年度からは学校推薦型選抜（地方創生枠）に女子枠（15人）を導入する。さらに、同年度より、工業高等専門学校専攻科卒業予定者の推薦入試の実施も計画しており、情報科学の分野で多様性のある人材を輩出するための取組を開始する。

フォローアップ対象年度	令和6年度	大学名	広島大学

指摘事項等に対する対応状況を記載してください。

区分	指摘事項等	対応状況
選定時留意事項（R5年度）	大学院において現在外国人留学生の比率が高く日本人学生の比率が低い中で、本事業の目的である我が国における高度情報専門人材の確保にどのように貢献していくか、学生確保や進路選択支援を含めた戦略の構築が求められる。	大学院において高度な情報知識・スキルを獲得した学生を獲得することは容易ではないが、本学では令和5年に学部入学定員70人、さらに令和7年度には学部入学定員30人、編入学定員15人を増員し、一学年200人体制で学部教育を実施している。これにより、大学院における日本人学生の増員は、学部の入学定員増とリンクした形で進むことを想定している。
選定時留意事項（R5年度）	学生確保の多様性に配慮した、より積極的・効果的なアクションが求められる。	情報科学部では女子学生比率が15%程度にとどまっていることから、令和８年度入試からは学校推薦型選抜（地方創生枠）45人を一般枠30人と女子枠15人として実施することを公表した。

大学名	広島大学	改組内容	研究科等の設置・増員＋学部等の設置・増員（ハイレベル枠）

１.本事業対象となる情報系組織の状況

１－１.博士課程

＜合計＞

大区分	小区分	年度 項目	単位	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
学生の入学・在籍状況	春季入学	入学定員	人	10	10	10	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学者数	人	5	11	6	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		女子学生数	人	1	4	0	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		社会人学生数	人	1	2	1	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		留学生数	人	4	1	3	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
	その他の学期	入学定員	人	0	0	0	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学者数	人	4	5	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		女子学生数	人	1	2	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		社会人学生数	人	0	0	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		留学生数	人	4	5	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
	入学者合計	入学定員（A）	人	10	10	10	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***
		入学者数（B）	人	9	16	6	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***
		女子学生数	人	2	6	0	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***
		社会人学生数	人	1	2	1	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***
		留学生数	人	8	6	3	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***
		入学定員充足率（B/A）	倍	0.90	1.60	0.60	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***
	収容定員等	収容定員（C）	人	30	30	30	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		在籍者数（D）	人	29	36	40	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		収容定員充足率（D/C）	倍	0.97	1.20	1.33	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***
卒業後の状況	卒業者数等	卒業者数	人	5	8	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***
		就職者数	人	1	8	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		進学者数	人	0	0	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		その他	人	4	0	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		進路不明	人	0	0	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
	大学院博士課程	満期退学者数	人	0	0	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		学位取得者数	人	5	8	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
教員の状況	実務経験のある教員の数画	教員数	人	18	18	11	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		授業科目の単位数	単位	49	60	41	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE

１－２.修士課程

＜合計＞

大区分	小区分	年度 項目	単位	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
学生の入学・在籍状況	春季入学	入学定員	人	36	36	70	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学者数	人	48	59	69	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		女子学生数	人	2	6	9	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		社会人学生数	人	0	0	0	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		留学生数	人	14	9	17	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
	その他の学期	入学定員	人	0	0	0	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学者数	人	7	9	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		女子学生数	人	2	0	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		社会人学生数	人	0	0	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		留学生数	人	7	8	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
	入学者合計	入学定員（A）	人	36	36	70	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***
		入学者数（B）	人	55	68	69	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***
		女子学生数	人	4	6	9	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***
		社会人学生数	人	0	0	0	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***
		留学生数	人	21	17	17	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***
		入学定員充足率（B/A）	倍	1.53	1.89	0.99	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***
	収容定員等	収容定員（C）	人	72	72	106	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		在籍者数（D）	人	124	128	149	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		収容定員充足率（D/C）	倍	1.72	1.78	1.41	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***
卒業後の状況	卒業者数等	卒業者数	人	63	56	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***
		就職者数	人	46	40	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		進学者数	人	9	2	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		その他	人	8	14	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		進路不明	人	0	0	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
教員の状況	実務経験のある教員の数画	教員数	人	65	62	33	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		授業科目の単位数	単位	167	162	118	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE

大学名	広島大学	改組内容	研究科等の設置・増員＋学部等の設置・増員（ハイレベル枠）

1－3.学士課程

＜合計＞

年度				R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
大区分	小区分	項目	単位																			
学生の入学・在籍状況	春季入学	入学定員	人	150	150	235	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学者数	人	158	156	237	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		女子学生数	人	19	18	25	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		社会人学生数	人	0	0	0	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		留学生数	人	0	1	0	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
	その他の学期	入学定員	人	***	***	***	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学者数	人	***	***	***	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		女子学生数	人	***	***	***	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		社会人学生数	人	***	***	***	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		留学生数	人	***	***	***	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
	入学者合計	入学定員（A）	人	150	150	235	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***
		入学者数（B）	人	158	156	237	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***
		女子学生数	人	19	18	25	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***
		社会人学生数	人	0	0	0	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***
		留学生数	人	0	1	0	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***
		入学定員充足率（B/A）	倍	1.05	1.04	1.01	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***
	収容定員等	収容定員（C）	人	400	470	640	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		編入学定員	人	5	5	20	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		在籍者数（D）	人	456	521	678	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		編入学者数	人	3	2	21	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		収容定員充足率（D/C）	倍	1.14	1.11	1.06	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***
卒業後の状況	卒業者数等	卒業者数	人	86	96	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***
		就職者数	人	34	41	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		進学者数	人	48	51	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		その他	人	4	4	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		進路不明	人	0	0	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
教員の状況	実務経験のある教員の数等	教員数	人	49	46	172	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		授業科目の単位数	単位	141	132	391	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE

大学名	広島大学	改組内容	研究科等の設置・増員＋学部等の設置・増員（ハイレベル枠）

本事業対象となる研究科等の個数	3

１.本事業対象となる情報系組織の状況

１－１.博士課程

＜内訳＞

(1)

改組組織名	先進理工系科学研究科先進理工系科学専攻博士課程後期情報科学プログラム

大区分	小区分	項目	単位	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
		年度		R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
		改組状況		選定																		
学生の入学･在籍状況	春季入学	入学定員	人	10	10	10																
		入学者数	人	5	11	6																
		女子学生数	人	1	4	0																
		社会人学生数	人	1	2	1																
		留学生数	人	4	1	3																
	その他の学期	入学定員	人	0	0	0																
		入学者数	人	4	5																	
		女子学生数	人	1	2																	
		社会人学生数	人	0	0																	
		留学生数	人	4	5																	
	入学者合計	入学定員(A)	人	10	10	10	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学者数(B)	人	9	16	6	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		女子学生数	人	2	6	0	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		社会人学生数	人	1	2	1	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		留学生数	人	8	6	3	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学定員充足率（B/A）	倍	0.90	1.60	0.60	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***
	収容定員等	収容定員(C)	人	30	30	30																
		在籍者数(D)	人	29	36	40																
		収容定員充足率（D/C）	倍	0.97	1.20	1.33	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***
卒業後の状況	卒業者数等	卒業者数	人	5	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***
		就職者数	人	1	8																	
		進学者数	人	0	0																	
		その他	人	4	0																	
		進路不明	人	0	0																	
	大学院博士課程	満期退学者数	人	0	0																	
		学位取得者数	人	5	8																	
教員の状況	実務経験のある教員の参画	教員数	人	18	18	11																
		授業科目の単位数	単位	49	60	41																

大学名	広島大学

(2)

改組組織名	先進理工系科学研究科先進理工系科学専攻博士課程後期DX科学プログラム

		年度		R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
		改組状況		選定																		
大区分	小区分	項目	単位																			
学生の入学・在籍状況	春季入学	入学定員	人	***	***	***																
		入学者数	人	***	***	***																
		女子学生数	人	***	***	***																
		社会人学生数	人	***	***	***																
		留学生数	人	***	***	***																
	その他の学期	入学定員	人	***	***																	
		入学者数	人	***	***																	
		女子学生数	人	***	***																	
		社会人学生数	人	***	***																	
		留学生数	人	***	***																	
	入学者合計	入学定員(A)	人	***	***	***	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学者数(B)	人	***	***	***	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		女子学生数	人	***	***	***	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		社会人学生数	人	***	***	***	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		留学生数	人	***	***	***	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学定員充足率（B/A）	倍	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***
	収容定員等	収容定員(C)	人	***	***	***																
		在籍者数(D)	人	***	***	***																
		収容定員充足率（D/C）	倍	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***
卒業後の状況	卒業者数等	卒業者数	人	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***
		就職者数	人	***	***																	
		進学者数	人	***	***																	
		その他	人	***	***																	
		進路不明	人	***	***																	
	大学院博士課程	満期退学者数	人	***	***																	
		学位取得者数	人	***	***																	
教員の状況	実務経験のある教員の参画	教員数	人	***	***	***																
		授業科目の単位数	単位	***	***	***																

大学名	広島大学

(3)

改組組織名	先進理工系科学研究科先進理工系科学専攻博士課程後期半導体システムプログラム

		年度		R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
		改組状況		選定																		
大区分	小区分	項目	単位																			
学生の入学・在籍状況	春季入学	入学定員	人	***	***	***																
		入学者数	人	***	***	***																
		女子学生数	人	***	***	***																
		社会人学生数	人	***	***	***																
		留学生数	人	***	***	***																
	その他の学期	入学定員	人	***	***																	
		入学者数	人	***	***																	
		女子学生数	人	***	***																	
		社会人学生数	人	***	***																	
		留学生数	人	***	***																	
	入学者合計	入学定員(A)	人	***	***	***	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学者数(B)	人	***	***	***	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		女子学生数	人	***	***	***	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		社会人学生数	人	***	***	***	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		留学生数	人	***	***	***	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学定員充足率（B/A）	倍	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***
	収容定員等	収容定員(C)	人	***	***	***																
		在籍者数(D)	人	***	***	***																
		収容定員充足率（D/C）	倍	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***
卒業後の状況	卒業者数等	卒業者数	人	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***
		就職者数	人	***	***																	
		進学者数	人	***	***																	
		その他	人	***	***																	
		進路不明	人	***	***																	
	大学院博士課程	満期退学者数	人	***	***																	
		学位取得者数	人	***	***																	
教員の状況	実務経験のある教員の参画	教員数	人	***	***	***																
		授業科目の単位数	単位	***	***	***																

大学名	広島大学	改組内容	研究科等の設置・増員＋学部等の設置・増員（ハイレベル枠）

本事業対象となる研究科等の個数	3

１.本事業対象となる情報系組織の状況

１－２.修士課程

＜内訳＞

(1)

改組組織名	先進理工系科学研究科先進理工系科学専攻博士課程前期情報科学プログラム

大区分	小区分	項目	単位	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
		年度		R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
		改組状況		選定		増員																
学生の入学･在籍状況	春季入学	入学定員	人	36	36	70																
		入学者数	人	48	59	69																
		女子学生数	人	2	6	9																
		社会人学生数	人	0	0	0																
		留学生数	人	14	9	17																
	その他の学期	入学定員	人	0	0	0																
		入学者数	人	7	9																	
		女子学生数	人	2	0																	
		社会人学生数	人	0	0																	
		留学生数	人	7	8																	
	入学者合計	入学定員(A)	人	36	36	70	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学者数(B)	人	55	68	69	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		女子学生数	人	4	6	9	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		社会人学生数	人	0	0	0	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		留学生数	人	21	17	17	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学定員充足率（B/A）	倍	1.53	1.89	0.99	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***
	収容定員等	収容定員(C)	人	72	72	106																
		在籍者数(D)	人	124	128	149																
		収容定員充足率（D/C）	倍	1.72	1.78	1.41	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***
卒業後の状況	卒業者数等	卒業者数	人	63	56	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***
		就職者数	人	46	40																	
		進学者数	人	9	2																	
		その他	人	8	14																	
		進路不明	人	0	0																	
教員の状況	実務経験のある教員の参画	教員数	人	65	62	33																
		授業科目の単位数	単位	167	162	118																

大学名	広島大学

(2)

改組組織名	先進理工系科学研究科先進理工系科学専攻博士課程前期DX科学プログラム

		フォローアップ対象年度		R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
		改組状況		選定																		
大区分	小区分	項目	単位																			
学生の入学・在籍状況	春季入学	入学定員	人	***	***	***																
		入学者数	人	***	***	***																
		女子学生数	人	***	***	***																
		社会人学生数	人	***	***	***																
		留学生数	人	***	***	***																
	その他の学期	入学定員	人	***	***	***																
		入学者数	人	***	***																	
		女子学生数	人	***	***																	
		社会人学生数	人	***	***																	
		留学生数	人	***	***																	
	入学者合計	入学定員(A)	人	***	***	***	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学者数(B)	人	***	***	***	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		女子学生数	人	***	***	***	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		社会人学生数	人	***	***	***	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		留学生数	人	***	***	***	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学定員充足率（B/A）	倍	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***
	収容定員等	収容定員(C)	人	***	***	***																
		在籍者数(D)	人	***	***	***																
		収容定員充足率（D/C）	倍	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***
卒業後の状況	卒業者数等	卒業者数	人	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***
		就職者数	人	***	***																	
		進学者数	人	***	***																	
		その他	人	***	***																	
		進路不明	人	***	***																	
教員の状況	実務経験のある教員の参画	教員数	人	***	***	***																
		授業科目の単位数	単位	***	***	***																

大学名	広島大学

(3)

改組組織名	先進理工系科学研究科先進理工系科学専攻博士課程前期半導体システムプログラム

		フォローアップ対象年度		R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
		改組状況		選定																		
大区分	小区分	項目	単位																			
学生の入学・在籍状況	春季入学	入学定員	人	***	***	***																
		入学者数	人	***	***	***																
		女子学生数	人	***	***	***																
		社会人学生数	人	***	***	***																
		留学生数	人	***	***	***																
	その他の学期	入学定員	人	***	***	***																
		入学者数	人	***	***																	
		女子学生数	人	***	***																	
		社会人学生数	人	***	***																	
		留学生数	人	***	***																	
	入学者合計	入学定員(A)	人	***	***	***	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学者数(B)	人	***	***	***	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		女子学生数	人	***	***	***	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		社会人学生数	人	***	***	***	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		留学生数	人	***	***	***	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学定員充足率（B/A）	倍	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***
	収容定員等	収容定員(C)	人	***	***	***																
		在籍者数(D)	人	***	***	***																
		収容定員充足率（D/C）	倍	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***
卒業後の状況	卒業者数等	卒業者数	人	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***
		就職者数	人	***	***																	
		進学者数	人	***	***																	
		その他	人	***	***																	
		進路不明	人	***	***																	
教員の状況	実務経験のある教員の参画	教員数	人	***	***	***																
		授業科目の単位数	単位	***	***	***																

大学名	広島大学	改組内容	研究科等の設置・増員＋学部等の設置・増員（ハイレベル枠）

本事業対象となる学部等の個数	2

１.本事業対象となる情報系組織の状況

１－３.学士課程

<内訳>

(1)

改組組織名	情報科学部情報科学科

大区分	小区分	項目	単位	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
		年度		R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
		改組状況		選定		増員																
学生の入学･在籍状況	春季入学	入学定員	人	150	150	180																
		入学者数	人	158	156	182																
		女子学生数	人	19	18	22																
		社会人学生数	人	0	0	0																
		留学生数	人	0	1	0																
	その他の学期	入学定員	人	***	***	***																
		入学者数	人	***	***	***																
		女子学生数	人	***	***	***																
		社会人学生数	人	***	***	***																
		留学生数	人	***	***	***																
	入学者合計	入学定員(A)	人	150	150	180	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学者数(B)	人	158	156	182	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		女子学生数	人	19	18	22	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		社会人学生数	人	0	0	0	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		留学生数	人	0	1	0	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学定員充足率（B/A）	倍	1.05	1.04	1.01	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***
	収容定員等	収容定員(C)	人	400	470	585																
		編入学定員	人	5	5	20																
		在籍者数(D)	人	456	521	623																
		編入学者数	人	3	2	21																
		収容定員充足率（D/C）	倍	1.14	1.11	1.06	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***
卒業後の状況	卒業者数等	卒業者数	人	86	96	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***
		就職者数	人	34	41																	
		進学者数	人	48	51																	
		その他	人	4	4																	
		進路不明	人	0	0																	
教員の状況	実務経験のある教員の参画	教員数	人	49	46	61																
		授業科目の単位数	単位	141	132	146																

大学名	広島大学

(2)

改組組織名	工学部第二類（電気電子･システム情報系）半導体システムプログラム

大区分	小区分	項目	単位	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
		年度		R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
		改組状況		選定		開設																
学生の入学･在籍状況	春季入学	入学定員	人	***	***	55																
		入学者数	人	***	***	55																
		女子学生数	人	***	***	3																
		社会人学生数	人	***	***	0																
		留学生数	人	***	***	0																
	その他の学期	入学定員	人	***	***	***																
		入学者数	人	***	***	***																
		女子学生数	人	***	***	***																
		社会人学生数	人	***	***	***																
		留学生数	人	***	***	***																
	入学者合計	入学定員(A)	人	***	***	55	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学者数(B)	人	***	***	55	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		女子学生数	人	***	***	3	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		社会人学生数	人	***	***	0	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		留学生数	人	***	***	0	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学定員充足率（B/A）	倍	***	***	1.00	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***
	収容定員等	収容定員(C)	人	***	***	55																
		編入学定員	人	***	***	***																
		在籍者数(D)	人	***	***	55																
		編入学者数	人	***	***	***																
		収容定員充足率（D/C）	倍	***	***	1.00	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***
卒業後の状況	卒業者数等	卒業者数	人	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***
		就職者数	人	***	***																	
		進学者数	人	***	***																	
		その他	人	***	***																	
		進路不明	人	***	***																	
教員の状況	実務経験のある教員の参画	教員数	人	***	***	111																
		授業科目の単位数	単位	***	***	245																

大学名	広島大学	改組内容	研究科等の設置・増員＋学部等の設置・増員（ハイレベル枠）

２.情報系組織の状況

２－１.博士課程

年度				R5年度 選定	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
大区分	小区分	項目	単位																			
学生の入学・在籍状況	春季入学	入学定員	人	10	10	10																
		入学者数	人	5	11	6																
		女子学生数	人	1	4	0																
		社会人学生数	人	1	2	1																
		留学生数	人	4	1	3																
	その他の学期	入学定員	人	0	0	0																
		入学者数	人	4	5																	
		女子学生数	人	1	2																	
		社会人学生数	人	0	0																	
		留学生数	人	4	5																	
	入学者合計	入学定員（A）	人	10	10	10	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学者数（B）	人	9	16	6	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		女子学生数	人	2	6	0	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		社会人学生数	人	1	2	1	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		留学生数	人	8	6	3	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学定員充足率（B/A）	倍	0.90	1.60	0.60	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***
	収容定員等	収容定員(C)	人	30	30	30																
		在籍者数(D)	人	29	36	40																
		収容定員充足率（D/C）	倍	0.97	1.20	1.33	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***
卒業後の状況	卒業者数等	卒業者数	人	5	8	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***
		就職者数	人	1	8																	
		進学者数	人	0	0																	
		その他	人	4	0																	
		進路不明	人	0	0																	
	大学院博士課程	満期退学者数	人	0	0																	
		学位取得者数	人	5	8																	
教員の状況	実務経験のある教員の参画	教員数	人	18	18	11																
		授業科目の単位数	単位	49	60	41																

大学名	広島大学	改組内容	研究科等の設置・増員＋学部等の設置・増員（ハイレベル枠）

２－２.修士課程

大区分	小区分	項目	単位	R5年度 選定	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
学生の入学・在籍状況	春季入学	入学定員	人	36	36	70																
		入学者数	人	48	59	69																
		女子学生数	人	2	6	0																
		社会人学生数	人	0	0	0																
		留学生数	人	14	9	17																
	その他の学期	入学定員	人	0	0	0																
		入学者数	人	7	9																	
		女子学生数	人	2	0																	
		社会人学生数	人	0	0																	
		留学生数	人	8	8																	
	入学者合計	入学定員（A）	人	36	36	70	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学者数（B）	人	55	68	69	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		女子学生数	人	4	6	0	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		社会人学生数	人	0	0	0	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		留学生数	人	22	17	17	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学定員充足率（B/A）	倍	1.53	1.89	0.99	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***
	収容定員等	収容定員(C)	人	72	72	106																
		在籍者数(D)	人	124	128	149																
		収容定員充足率（D/C）	倍	1.72	1.78	1.41	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***
卒業後の状況	卒業者数等	卒業者数	人	63	56	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***
		就職者数	人	46	40																	
		進学者数	人	9	2																	
		その他	人	8	14																	
		進路不明	人	0	0																	
教員の状況	実務経験のある教員の参画	教員数	人	65	62	33																
		授業科目の単位数	単位	167	162	118																

大学名	広島大学	改組内容	研究科等の設置・増員＋学部等の設置・増員（ハイレベル枠）

２－３.学士課程

大区分	小区分	項目	単位	R5年度 選定	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
学生の入学・在籍状況	春季入学	入学定員	人	150	150	235																
		入学者数	人	158	156	237																
		女子学生数	人	19	18	25																
		社会人学生数	人	0	0	0																
		留学生数	人	0	1	0																
	その他の学期	入学定員	人	***	***	***																
		入学者数	人	***	***	***																
		女子学生数	人	***	***	***																
		社会人学生数	人	***	***	***																
		留学生数	人	***	***	***																
	入学者合計	入学定員（A）	人	150	150	235	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学者数（B）	人	158	156	237	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		女子学生数	人	19	18	25	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		社会人学生数	人	0	0	0	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		留学生数	人	0	1	0	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学定員充足率（B/A）	倍	1.05	1.04	1.01	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***
	収容定員等	収容定員(C)	人	400	470	640																
		編入学定員	人	5	5	20																
		在籍者数(D)	人	456	521	678																
		編入学者数	人	3	2	21																
		収容定員充足率（D/C）	倍	1.14	1.11	1.06	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***
卒業後の状況	卒業者数等	卒業者数	人	86	96	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***
		就職者数	人	34	41																	
		進学者数	人	48	51																	
		その他	人	4	4																	
		進路不明	人	0	0																	
教員の状況	実務経験のある教員の参画	教員数	人	49	46	172																
		授業科目の単位数	単位	141	132	391																

大学名	広島大学	改組内容	研究科等の設置・増員＋学部等の設置・増員（ハイレベル枠）

３.大学全体の状況

３－１.博士課程

年度				R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
大区分	小区分	項目	単位																			
学生の入学・在籍状況	春季入学	入学定員	人	455	455	455																
		入学者数	人	296	384	335																
	その他の学期	入学定員	人	0	0	0																
		入学者数	人	146	128																	
	入学者合計	入学定員（A）	人	455	455	455	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学者数（B）	人	442	512	335	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学定員充足率（B/A）	倍	0.97	1.13	0.74	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***
	収容定員等	収容定員（C）	人	1,462	1,462	1,462																
		在籍者数（D）	人	1,847	1,935	1,967																
		収容定員充足率（D/C）	倍	1.26	1.32	1.35	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***

３－２.修士課程

年度				R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
大区分	小区分	項目	単位																			
学生の入学・在籍状況	春季入学	入学定員	人	1,115	1,115	1,149																
		入学者数	人	1,032	1,120	1,125																
	その他の学期	入学定員	人	4	4	4																
		入学者数	人	175	184																	
	入学者合計	入学定員（A）	人	1,119	1,119	1,153	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学者数（B）	人	1,207	1,304	1,125	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学定員充足率（B/A）	倍	1.08	1.17	0.98	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***
	収容定員等	収容定員（C）	人	2,358	2,358	2,272																
		在籍者数（D）	人	2,679	2,696	2,681																
		収容定員充足率（D/C）	倍	1.14	1.14	1.18	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***

大学名	広島大学	改組内容	研究科等の設置・増員＋学部等の設置・増員（ハイレベル枠）

３－３.学士課程

年度				R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
大区分	小区分	項目	単位																			
学生の入学・在籍状況	春季入学	入学定員	人	2,386	2,386	2,428																
		入学者数	人	2,471	2,463	2,511																
	その他の学期	入学定員	人	***	***	***																
		入学者数	人	***	***	***																
	入学者合計	入学定員（A）	人	2,386	2,386	2,428	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学者数（B）	人	2,471	2,463	2,511	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学定員充足率（B/A）	倍	1.04	1.03	1.03	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***
	収容定員等	収容定員（C）	人	9,976	10,024	10,114																
		編入学定員	人	80	80	80																
		在籍者数（D）	人	10,612	10,645	10,730																
		編入学者数	人	56	40	64																
		収容定員充足率（D/C）	倍	1.06	1.06	1.06																

４.外部資金の状況（全学）

年度				R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
大区分	小区分	項目	単位																			
競争的外部資金等の状況	全体	研究者数	人	2181	2241	2263																
		外部資金獲得額	千円	16,098,727	21,170,589	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***
	共同研究	実施件数	件	589	613																	
		実施件数（民間企業からのみ）	件	538	560																	
		受入額	千円	1,989,821	1,675,568																	
		受入額（民間企業からのみ）	千円	1,737,250	1,504,314																	
	受託研究	実施件数	件	584	590																	
		実施件数（民間企業からのみ）	件	186	193																	
		受入額	千円	3,876,920	4,184,200																	
		受入額（民間企業からのみ）	千円	259,763	377,743																	
	寄附金	実施件数	件	8109	8414																	
		実施件数（民間企業からのみ）	件	534	434																	
		受入額	千円	3,532,324	2,219,487																	
		受入額（民間企業からのみ）	千円	427,583	257,219																	
	その他	受入額（上記に当てはまらないもの）	千円	6,699,661	13,091,334																	

特記事項

「様式2-4-2_学士」の「1.本事業対象となる情報系組織の状況」における「（2）工学部第二類（電気電子・システム情報系）半導体システムプログラム」は，2年次からプログラムに配属となるため，入学定員を入学者数及び在籍者数とみなしている。
「様式2-4-2_修士」の「1.本事業対象となる情報系組織の状況」における「その他の学期」の入学定員については，「春季入学」の入学定員を満たせなかった人数を募集しているため，若干名の募集ではないが，ゼロを記入。
「様式2-4-2_ｂ」の「3.大学全体の状況」の修士課程における「その他の学期」の入学定員については，「春季入学」の入学定員を満たせなかった人数を募集しているため，若干名の募集ではないが，ゼロを記入。
「様式2-4-2_ｂ」の「3.大学全体の状況」の博士課程における「その他の学期」の入学定員については，明確に入学定員を設けているのは大学院人間社会科学研究科広島大学・グラーツ大学国際連携サスティナビリティ学専攻の2人と大学院先進理工系科学研究科広島大学・ライプツィヒ大学国際連携サスティナビリティ学専攻の2人の計4人だけであり，その他は「春季入学」の入学定員を満たせなかった人数を募集しているため，入学定員4人に対して入学者が175人となっている。